

2016年度コーポレートガバナンス
各回授業概要

授業の目標・概要：

わが国では、90年代後半のバブル崩壊・不良債権処理の遅れの顕在化以降、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営の監視は格段に充実された。また、近年では成長戦略の一環としてコーポレートガバナンスに関する関心が高まっている。昨年には「機関投資家が対話を通じて企業の中長期的な成長を促すなど、受託者責任を果たすため」として『責任ある機関投資家』の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)が実施され、さらに今年には「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため」として「コーポレートガバナンス・コード」が実施に移された。

この授業では、我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討するとともに、実際のコーポレートガバナンスの現場や各国のガバナンス制度の違いを把握することから、さらなる制度設計に向けた視座を得る。

授業計画

回次	日付	テーマ	担当	ゲスト
1	4月6日	イントロダクション	林良造、中原裕彦、土屋裕子	
2	4月13日	企業の基本的性質	林良造、土屋裕子	
3	4月20日	株主総会、取締役会、監査役会、企業再編		林良造
4	4月27日	日本におけるコーポレートガバナンスの展開		中原裕彦
5	5月11日	米国におけるコーポレートガバナンスの展開		土屋裕子
6	5月18日	企業の内部機構によるガバナンス	中原裕彦	
7	5月25日	日本におけるコーポレートガバナンスの改革		中原裕彦
8	6月1日	株式を通じたガバナンス	林良造、中原裕彦	
9	6月8日	日本におけるコーポレートガバナンスの論点		中原裕彦
10	6月15日	企業経営と取締役会の実態		藤田純孝
11	6月22日	比較ガバナンス	ブルース・E・アロンソン	
12	6月29日	医療機関のガバナンス	林良造、土屋裕子	
13	7月6日	今後のガバナンス改革の課題と展望		中原裕彦、林良造

成績評価方法

- ・レポート提出(60%)
- ・授業への参加状況(40%)

各回授業概要

第1回：イントロダクション：授業の概要（林）

- ・授業計画
- ・本授業で取り扱う事柄の概要について
- ・国民経済・経済政策における企業部門の位置づけ

第2回：企業の基本的性質（林・土屋）

- ・企業の基本的構造とそこから生じる問題について
- ・ **transaction cost / nexus of contracts**
- ・企業は誰のものか
- ・所有と経営の分離 → **principal-agent** 問題
- ・企業会計の基本構造

第3回：株主総会、取締役会、監査役会、企業再編（林）

- ・株式会社の主要機関はどのように運営されているのか
- ・社外役員を選任と実務
- ・基本的経営指標

第4回：日本におけるコーポレートガバナンスの展開（中原）

- ・従来の日本型ガバナンス：メインバンク・システム
- ・バブル崩壊と日本型ガバナンスの崩壊
- ・不良債権処理や産業活性化のための法制度改革の流れを概観
(独占禁止法による持株会社解禁、連結決算制度、産業再生法、ファンド規制などのガバナンスに関する法整備を概観)

第5回：米国におけるコーポレートガバナンスの現状（土屋）

- ・歴史
- ・具体的な企業倒産や企業不祥事の事例を紹介
- ・機関投資家の台頭とアクティビストとファンド

- ・こうした事例を踏まえ、米国ではどのような問題が認識され、どのようなガバナンス制度が構築されてきたのか、その展開について概観
- ・エンロン・ワールドコム
- ・SOX 法
- ・米国におけるガバナンス制度の現状について概観
会社法、証券取引所規則の役割、機関投資家の役割（年金基金など）
- ・支配株主、少数株主、経営者、労働者、年金生活者などの織り成す政治経済学

第 6 回：企業の内部機構によるガバナンス（中原）

- ・会社の内部機関による規律：会社法概観
取締役会（社外取締役の役割）、監査役
- ・報酬による経営者の動機付け
報酬に対する規制（諸外国の状況も踏まえて）

第 7 回：日本におけるコーポレートガバナンスの改革（中原）

- ・会社法の現代化 金融商品取引法改正
企業組織再編に関する会社法改正の歴史など

第 8 回：株式を通じたガバナンス（林・中原）

- ・グローバル化による経営環境の変化
- ・株主総会
持ち合い、支配株主の減少、外国人株主の拡大などをどう考えるか
- ・M & A 買収防衛策
- ・ガバナンスにおける機関投資家の役割について
(年金基金やファンドの役割)
- ・国際的なファンド規制など

第 9 回：日本におけるコーポレートガバナンスの論点（中原）

- ・スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードにおける具体的論点
社外取締役の有用性、機関投資家が負うべき役割
企業が目指すべき事柄（株主利益 v. 社会的責任）などに関する論争
- ・労働法制に関する近時の議論

第 10 回：企業経営と取締役会の実態：(Guest Speaker：藤田)

- ・実際に取締役等をご経験されている方から、最近のコーポレートガバナンスの実態について伺う

第 11 回：比較ガバナンス：(Guest Speaker：アロンソン)

- ・ 米国、韓国、ドイツなどのガバナンスについて

第 12 回：非営利企業体のガバナンス（林・土屋）

- ・ 社会福祉法人におけるガバナンス規制と実態

第 13 回：ガバナンス改革のダイナミズム：立法担当者による講義と Discussion（中原）

- ・ 会社法改正、スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コードの策定における行政・立法・利益団体のダイナミズムについて
- ・ ガバナンス制度の違いによる経営への影響→経済への効果など
- ・ 日本が今後採るべきガバナンスの方向性などについて討論